

目標達成計画

事業所名 グループホーム ラ・ファミーユ

作成日 : 平成 23年 2月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	理念の共有と実践	昨年、施設の理念である『親愛』『共生』『向上』の実践指針が完成したこともあり、グループホームの理念である『笑顔』と共に職員で実践し定着させる。	毎朝の朝礼時に、職員全員で理念を唱和をする。いつも理念を頭に置いて、如何なる時でも『笑顔』で利用者様やそれ以外の人にも接していく。	6 か月	
2	19	本人を共に支えあう家族との関係	家族様にも協力して頂ける支援はお願いし、今後の利用者様を支えて行く上で必要な情報を共有し、家族様に行事等へ参加していただく。	家族様に、毎月利用者様の日々の様子などを書いて送付する際、行事予定も入れるようにして家族様に行事等に参加していただき、利用者様と家族様との時間を持っていただく。ご家族様と職員との交流も行い、必要な情報を共有することにより家族様との良好な関係を築いていく。	12 か月	
3	24	これまでの暮らしの把握	グループホームにある情報や、利用者様・家族様からの情報を元にセンター方式を進めていく。	利用者様の各担当者が、グループホームにある情報や、利用者様・家族様からの情報を基にセンター方式を進めていく。定期的に家族会を開催するようにする。	6 か月	
4	6	身体拘束についての理解が出来ていない職員がいる	身体拘束について、職員全員で把握出来るよう勉強し、理解を深める。	職員が、施設外講習・勉強会等に積極的に参加して、そこで学んだことを施設内研修において職員全員で共有する。	12 か月	
5	2	地域との交流が不足している。	利用者様と職員とで、地元地域の行事(清掃活動等)への参加。	運動会・文化祭・地方祭等に参加するときは、家族様にも連絡して、参加のお願いをする。	6 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】				
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)		
1	サービス評価の事前準備	○	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った	
			利用者へサービス評価について説明した	
		○	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした	
			運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した	
			その他()	
2	自己評価の実施	○	自己評価を職員全員が実施した	
		○	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った	
		○	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った	
		○	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った	
			その他()	
3	外部評価(訪問調査当日)	○	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった	
		○	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた	
		○	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た	
			その他()	
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	○	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った	
			利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った	
		○	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った	
			運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った	
			その他()	
5	サービス評価の活用	○	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した	
			「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)	
		○	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)	
		○	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)	
			その他()	